

# 景気動向調査

「(山形・秋田)県内企業の景気動向調査」(概要)

## 1 調査の目的

山形・秋田県内に本社を置く法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しについて調査を行い、景気の動向を把握することを目的とする。

## 2 調査の方法

すべての質問事項についてDI (Diffusion Index) 値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は「自社の業況DI値」= (「良い」と回答した企業の割合) - (「悪い」と回答した企業の割合)

## 3 調査期間

平成26年2月3日(月)~14日(金)

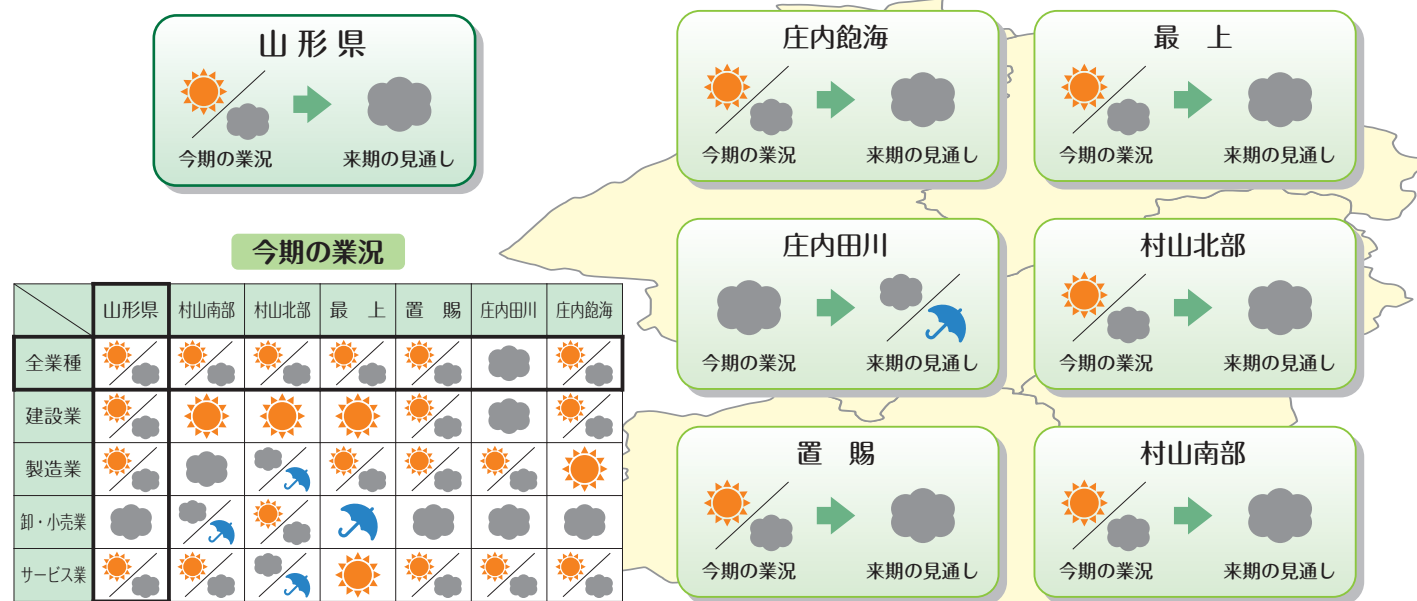
## 4 サンプル概要

アンケート対象企業 山形738社、秋田639社  
有効回答数 山形484社、秋田439社  
回答率 山形65.6%、秋田68.7%

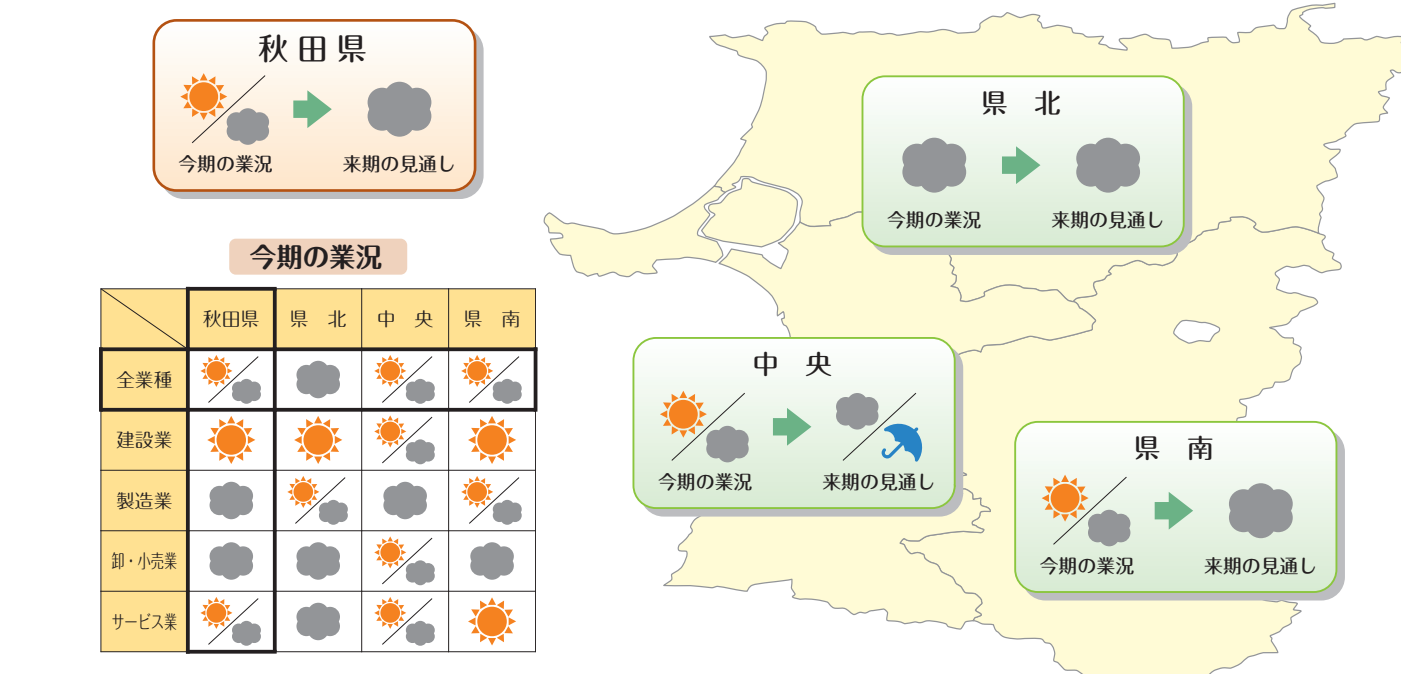
特に好調 DI≥30	好調 30>DI≥10	まあまあ 10>DI≥▲10	不振 ▲10>DI≥▲30	きわめて不振 ▲30>DI

## 景気天気図

第38回「山形県内企業の景気動向調査」



第11回「秋田県内企業の景気動向調査」

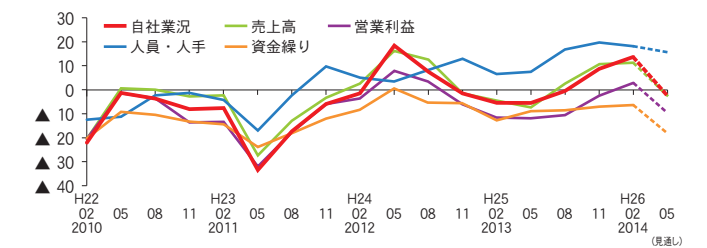


## ▶ 自社業況の動向

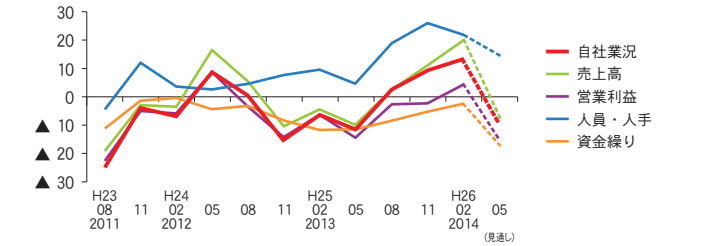
山形県の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値(前年同期比)」でみると、13.3(前回調査比4.9ポイント上昇)と**プラス幅を拡大し、足元は回復傾向にある**。しかしながら、DI値の水準は、直近のピークである平成24年5月の16.6を更新するには至っていない。先行き見通しは▲3.5(今回調査比16.8ポイント下落)と**大幅に悪化して、再びマイナスに転じる見込みで、消費税増税など先行きを懸念しているものと考えられる**。

秋田県の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値(前年同期比)」でみると、13.2(前回調査比4.1ポイント上昇)と**3期連続の改善となり、消費税増税前の駆け込み需要などを受け、足元は回復基調で推移している**。先行き見通しは▲10.0(今回調査比23.2ポイント下落)と**大幅に悪化し、マイナスに転じる見込み**。

図表1 山形「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表2 秋田「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

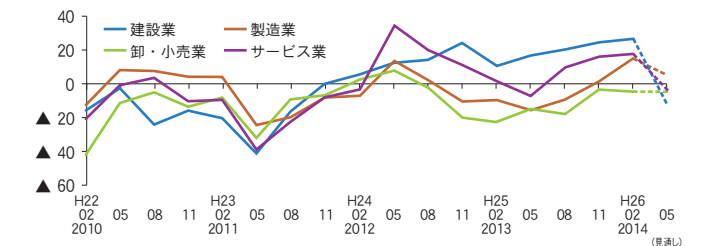


## ▶ 業種別の動向

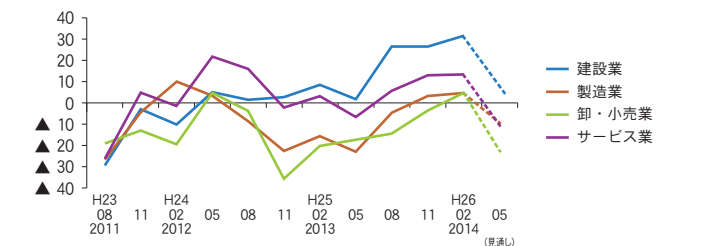
山形県の業況を業種別にみると、**建設業、製造業、サービス業で回復したが、卸・小売業は若干の悪化となっている**。先行き見通しは、卸・小売業で横ばいである一方、**建設業、製造業、サービス業で大幅に悪化の見込みとなり、4月からの消費税増税を控え、先行きを懸念している状況**がうかがえる。

秋田県の業況を業種別にみると、**すべての業種で回復となった**。中でも卸・小売業が5期連続で改善し、7期ぶりにDI値がプラスに転じたほか、**建設業はプラス幅を拡大した**。先行き見通しは、**すべての業種で悪化が見込まれ、建設業を除く3業種ではDI値がマイナスに転じる見込み**となっている。消費税増税を控え、先行き不透明感が色濃くうかがえる。

図表3 山形・業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表4 秋田・業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

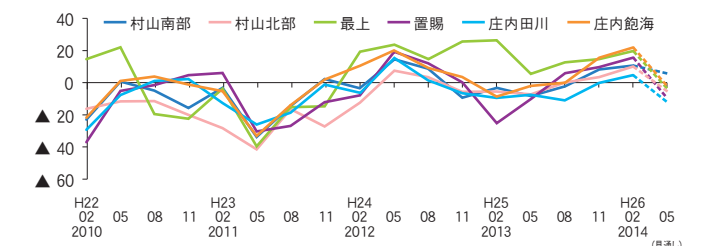


## ▶ 地域別の動向

山形県の業況を地域別にみると、**村山南部、村山北部、最上、置賜、庄内田川、庄内飽海のすべての地域で回復し、庄内田川でDI値がプラスに転じるとともに、その他5地域ではDI値のプラス幅を拡大した**。先行き見通しは、**すべての地域で悪化の見込みとなり、村山南部以外の5地域で大幅に悪化し、DI値がマイナスに転じる見通し**。

秋田県の業況を地域別にみると、**中央では悪化となったもののDI値のプラスを維持し、県北・県南地域では改善してプラスに転じた**。先行き見通しは、**全地域でDI値がマイナスに転じる見込み**となっており、業種別の概況同様、**ここでも総じて消費税増税を控えて先行きに対する不透明感が強くうかがえる**。

図表5 山形・地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表6 秋田・地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

